

# しずおか就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム 事業実施計画

## 1 趣旨

いわゆる就職氷河期世代（概ね平成5年～平成16年に学校卒業期を迎えた世代を指す。）は、現在30代半ばから40代後半（令和2年4月1日現在、大卒で概ね38歳～49歳、高卒で概ね34歳～45歳）に至っている。

これら世代は雇用環境が厳しい時期に就職活動を行った世代であり、その中には、希望する就職ができず、現在も不本意ながら不安定な仕事に就いている、無業の状態にある、社会参加に向けて支援を必要とする状態にあるなど、様々な課題に直面している方がいる。

こうした状況の中、令和元年6月21日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2019」では、就職氷河期世代の活躍の場を広げるための3年間の集中的な取組として「就職氷河期世代支援プログラム」がとりまとめられるとともに、同プログラムを着実に実行するため、令和元年12月23日に「就職氷河期世代支援に関する行動計画2019」（以下「行動計画」という。）が関係府省庁会議で決定された。

静岡県においては、行動計画に基づき、静岡県内の関係機関を構成員として、県内の就職氷河期世代の活躍支援策のとりまとめ、進捗管理等を統括する「しずおか就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」（以下「しずおかPF」という。）を令和2年8月7日に設置した。

については、就職・正社員化の実現をはじめとする同世代の活躍の機会が広がるよう、「しずおか就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム事業実施計画」（以下、「しずおかPF計画」という。）を策定し、就職氷河期世代の方々の活躍の機会が広がるよう必要な支援を行うとともに、各界一体となった当該世代の支援に関する気運を醸成するなど、しずおかPFにおいて継続的な取組を推進していくこととする。

## 2 計画期間

令和2年12月23日～令和5年3月31日

## 3 支援対象者

しずおかPF計画においては、就職氷河期世代の次の①～③に掲げる方々を支援対象者とする。

- ①不安定な就労状態にある方
- ②就業を希望しながら長期にわたり無業の状態にある方
- ③社会参加に向けた支援を必要とする方

#### 4 現状と課題

静岡県内における支援対象者の現状については、総務省の「就業構造基本統計調査（2017年）」を基に、①「不安定な就労状態にある方」16,700人<sup>\*1</sup>、②「就業を希望しながら長期にわたり無業の状態にある方」8,959人<sup>\*2</sup>と推計している。③「社会参加に向けた支援を必要とする方」については、支援対象者個人ごとに抱える事情や状態が異なり、必ずしも直ちに就労に向かうことが本人にとって望ましいとは限らず、就労支援の対象として数量的にとらえることがそもそもなじまないことから推計対象としていないが、今後、しずおかPF計画の期間内において、支援対象者の実態やニーズを的確に把握し必要な支援を進めていくこととする。

こうした支援対象者の当面の目標は、働くことや社会参加など多様であり、また生活の基盤を置く地域の実情も様々であることから、個々人の状況に応じた支援メニューを丁寧に届けていかなければならない。そのためには、支援対象者やその家族の置かれている状況、ニーズをしっかりと受け止めるという姿勢を、社会全体に浸透させるよう取り組んでいくことが不可欠である。

支援対象者である①「不安定な就労状態にある方」、②「就業を希望しながら長期にわたり無業の状態にある方」、③「社会参加に向けた支援を必要とする方」は明確に区分できない場合も想定され、その状態も時とともに変化していくものであることから、関係機関が連携して、多様で複合的な課題やニーズに対応しながら、支援対象者やその家族に対する柔軟な支援を行う必要がある。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、事業活動及び雇用への重大な影響が生じることが懸念されており、特に、急激な事業変動の影響を受

けやすい①「不安定な就労状態にある方」については、その解雇・雇止めにより、生活の基盤となる職場を失う恐れがあるとともに、②「就業を希望しながら長期にわたり無業の状態にある方」、及び③「社会参加に向けた支援を必要とする方」についても、応募機会が少なくなることが危惧される。

今後の雇用情勢の変化に留意しながら、第二の就職氷河期世代を作らないための取組等と合わせて、社会全体で支援対象者を支える機運を醸成していくことが重要である。

これを踏まえ、必要な方に必要な支援が届く体制を構築するため、しずおか P F のみならず、他の関係機関とも連携して取り組んでいくこととする。

※1 「不安定な就労状態にある方」：現在非正規雇用で働いており、現在の雇用形態についている理由について「主に正規の職員・従業員の仕事がないから」と答えた方。

資料出所：総務省「就業構造基本調査（2017年）」

※2 「就業を希望しながら長期にわたり無業の状態にある方」：無業者のうち求職活動をしていない方で、卒業者かつ通学しておらず、配偶者なしで家事を行っていない方。JILPT が特別集計したデータを利用。

資料出所：JILPT「若年者の就業状況・キャリア・職業能力開発の現状③」

## 5 目標、K P I<sup>※3</sup>及び取組

### (1) 不安定な就労状態にある方

#### 【目標】

正規雇用を希望していながら不安定な就労状態にある方について、現状よりも良い処遇を目指すため、支援対象者の正規雇用者数を 9,300 人<sup>※4</sup>増やすことを目標とする。

#### 【K P I】

- ハローワーク紹介による正社員就職件数 16,000 件
- キャリアアップ助成金活用による正社員転換数 6,000 人<sup>※5</sup>

- 「しずおかジョブステーション」に配置した就職氷河期世代就職支援サポーターが行う相談件数 9,100 件

※3 KPI：重要業績評価指標（Key Performance Indicator）の略。目標の進捗を把握するための指標。

※4 総務省「就業構造基本調査（2017年）」より

「不安定な就労状態にある方」静岡県 16,700 人／全国 541,700 人×100÷3.1%  
30 万人（国の目標）×3.1%=9,300 人（静岡県の3年間の目標）

※5 全年齢層での目標

### 【取組】

（相談体制の充実）

- ハローワークの需給調整機能を活用し、求人者への働きかけにより限定求人・歓迎求人の開拓、確保を進め、求職者に対して情報提供を行う。

### 【静岡労働局】

- ハローワーク静岡、浜松に「就職氷河期世代専門窓口」（名称：ミドル・チャレンジコーナー）を設置し、専門担当者のチーム制等による職業相談・紹介、職場定着までの一貫した伴走型支援を行う。

### 【静岡労働局】

- しずおかジョブステーションにおいて、就職氷河期世代支援サポーターによるキャリアコンサルティング等の個別相談を実施する。

### 【静岡県】

（職業訓練の実施・強化、スキルアップ支援）

- 個々のニーズに対応し、安定就労に有効な職業能力等の習得を目指す公共職業訓練の実施等によるスキルアップや新たなキャリアへの挑戦を支援する。

【静岡労働局、静岡県、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構静岡支部】

(就職、正社員への転換支援)

- 特定求職者雇用開発助成金(就職氷河期世代安定雇用実現コース)、キャリアアップ助成金等の企業支援策周知に努め、その活用による就職氷河期世代の正社員就職及び正社員転換を促進する。

【静岡労働局】

- 就職氷河期世代を対象とした求人募集、正社員化を含む処遇改善、職場定着支援など、企業等における受入体制整備(職場体験・実習等の機会確保を含む)等の取組を推進する。また、それら取組に必要な施策をしずおかPFに提案する。

【静岡県経営者協会、静岡県商工会議所連合会、静岡県商工会連合会、静岡県中小企業団体中央会】

- 就職氷河期世代を対象とした支援策について労働者への周知を行う。

【日本労働組合総連合会 静岡県連合会】

- 就職氷河期世代を対象とした静岡県職員採用試験を実施する。

【静岡県】

(2) 就業を希望しながら長期にわたり無業の状態にある方

【目標】

就業を希望しながら、様々な事情により求職活動をしていない長期無業の状態にある方については、働くことや社会参加を促す中で本人に合った形で支援を行う必要があることから、地域若者サポートステーション(以下「サポステ」という。)を中心に、関係機関と連携しながら職業的自立につなげることを目標とする。

## 【K P I】

- サポステへの新規登録件数 1,900 件<sup>※6</sup>
- サポステの支援により就労につながった件数 1,300 件<sup>※6</sup>

※6 サポステ支援対象全年齢層での目標

## 【取組】

(相談体制の充実)

- サポステの支援対象年齢を 49 歳までに広げるなどの機能強化を図り、専門相談員によるカウンセリング、セミナーの実施等により、支援対象者の職業意識やコミュニケーション能力の向上を図る。

また、関係機関への多様な支援において支援対象者を把握し、ハローワーク、しずおかジョブステーション等との連携により個々人の状況に対応したきめ細かな職業的自立支援を行う。

【静岡労働局、静岡県、浜松市、サポステ】

- 就職氷河期世代就職相談会を開催し、支援対象者やその家族からの相談に応じ、個々人の状況に対応したきめ細かな職業的自立支援を行う。

【浜松市】

(職業体験・見学、就労に向けた支援)

- 支援対象者に対し、ハローワークにおける就職支援プログラムの実施、企業との連携強化を図ることで、就職・正社員化等職業的自立につなげる。

【静岡労働局、静岡県】

- 職場体験・実習等による受入体制の整備の取組について、業界団体や企業等への協力要請を行い拡大を図る。

【静岡労働局、静岡県】

- 支援対象者の職場体験や職場実習等の機会確保及び受入れ後の職場定着支援など、企業等における受入体制整備に係る取組を推進する。

【静岡県、静岡県経営者協会、静岡県商工会議所連合会、静岡県商工会連合会、静岡県中小企業団体中央会、静岡県建設業協会、静岡県トラック協会、静岡県老人福祉施設協議会】

- 支援対象者に係る受入体制整備（職場体験・実習等の機会確保を含む）等への取組について企業等への働きかけを行う。

【静岡県】

- 支援策について労働者への周知を行う。

【日本労働組合総連合会 静岡県連合会】

### (3) 社会参加に向けた支援を必要とする方（ひきこもりの方等）

#### 【目標】

支援対象者やその家族の実態やニーズに応じた、就労に限らない多様な社会参加に向けた支援を可能とするため、市町レベルのプラットフォーム（以下「市町PF」という。）の設置等、支援体制の充実を図り、支援対象者と社会のつながりが生まれることを目標とする。

#### 【KPI】

- 市町のひきこもり相談窓口設置数 33市町

#### 【取組】

（相談体制の充実）

- 支援対象者やその家族が、居住する地域で容易に相談できるよう、市町での包括的支援体制整備を促進するとともに、生活困窮者自立支援制度の自立支援機関（以下「自立支援機関」という。）における相談体制の強化や就労

準備支援事業等の充実を図る。また、これら支援体制について、住民への周知を図る。

**【静岡県】**

(職業体験・見学、就労に向けた支援)

- 支援対象者の職場体験や職場実習等の機会確保及び受入れ後の職場定着支援など、企業等における受入体制整備に係る取組を推進する。(再掲)

**【静岡県、静岡県経営者協会、静岡県商工会議所連合会、静岡県商工会連合会、静岡県中小企業団体中央会、静岡県建設業協会、静岡県トラック協会、静岡県老人福祉施設協議会】**

- 支援対象者に係る受入体制整備(職場体験・実習等の機会確保を含む)等への取組について企業等への働きかけを行う。(再掲)

**【静岡県】**

- 支援策について労働者への周知を行う。(再掲)

**【日本労働組合総連合会 静岡県連合会】**

(4) 全支援対象者

**【取組】**

(就職氷河期世代支援の気運醸成)

- しずおかPFの取組や活動等について、市町や各団体・企業等に積極的に周知・啓発を行うことにより、社会全体で就職氷河期世代の活躍を支援する気運の醸成を図る。

**【全構成員】**

- 支援対象者一人ひとりに各種施策や社会全体で支援するというメッセージを積極的に届けるため、あらゆる手段(メディア、SNS、WEB、イベント開催等)を活用し、家族、関係者も含め効果的に伝わる周知・広報策を展開する。



## 【全構成員】

### 6 推進体制・進捗管理方法

しずおかP F計画の効果的な推進を図るため、しずおかP Fとりまとめ事務局において進捗状況の把握及び管理を行い、しずおかP F設置要領の5に規定する会議において公表する。

なお、その進捗状況等を踏まえ、必要に応じて計画内容を見直すこともあり得る。

### 7 地域就職氷河期世代支援加速化交付金【別表】

### 8 市町プラットフォームとの連携

しずおかP Fは、市町P Fの効果的かつ円滑な運営のために、市町P Fからの支援要請に対して適切に対応するとともに、就職氷河期世代支援に関する好事例等の情報についてはこれを共有し、双方密な連携を図ることとする。

### 9 その他

しずおかP F計画の実施に当たり、課題、疑義等が生じた場合は、しずおかP F内の構成員で協議を行うとともに、関係機関に対しても情報共有を行うこととする。

しずおかP F計画については、毎年度の実施状況を踏まえた見直しを行うことがある。

なお、しずおかP F計画の記載のうち、静岡労働局及び静岡県の取組に係る記載については、今後の予算審議等の状況により修正・変更等があり得る。

【別表】

地域就職氷河期世代加速化交付金事業一覧

No.	実施主体	事業名	事業の概要	計画期間
1	静岡県	就職氷河期世代就職支援事業 (就職サポーターの配置)	幅広い求職者に対して就職相談等を実施している県内3か所のしずおかジョブステーションに、就職氷河期世代に特化した就職氷河期世代就職支援サポーターを各1名ずつ計3名を配置する。 本県のプラットフォーム構成団体との連絡調整・実施事業の周知・広報、キャリア形成・就職活動等の就職相談を行う。また、相談に来た者に対して、コミュニケーション能力向上等のセミナーを行うとともに企業とのマッチング会を行う。	R2.8.1～R5.3.31
2	静岡県	就職氷河期世代ひきこもり支援強化事業	社会福祉法人やNPO法人等の民間事業者を活用し、ひきこもり支援に関する専門のノウハウを有するアドバイザーを派遣して、市町におけるひきこもり相談窓口の設置から相談支援の対応について、助言指導を行う。また、プラットフォーム構成団体と連携し、就職氷河期世代でひきこもり状態にある方の社会参加に向けた支援を幅広く展開していく。	R2.11.2～R5.3.31
3	浜松市	就職氷河期世代支援事業	1 就職氷河期世代就職相談会開催(年2回開催) 2 地域若者サポートステーション浜松事業拡充に伴う職員(専門職員週2人日)増員 3 就職氷河期世代支援プログラムの広報(SNS広報・チラシ作成) ※3はR2のみ実施	R2.6.17～R5.3.31
4	静岡市	就職氷河期世代就職促進事業 ～ライフデザイン・ビレッジ創造に向けて～	課題となる支援対象者の掘り起こしや、動機付け、支援人材の強化を図ることにより、就職氷河期世代が就職や社会参加に結びつくよう集中的に取り組むとともに、市内企業における人手不足の一助となることを目指す。また、実態調査、分析・検証、就職氷河期世代への支援体制のあり方等の検討を平行して実施し、地域における今後の支援体制の構築・強化を図る。	R2.11.13～R5.3.31
5	富士市	ユニバーサル就労推進事業(就職氷河期世代専属の支援員の配置)	就労困難者が、個性や意欲に応じて能力を発揮し、社会を構成する一員として社会経済活動に参加することにより、生きがいを感じながら安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与するため、「富士市ユニバーサル就労支援センター就労支援グループ」内に就職氷河期世代専属の支援員2名を配置し、アセスメントやキャリアカウンセリング、職場見学や就労体験等、個々の事由や適性に合わせた就労支援を行い、希望に沿った就労の実現を目指す。また、事業に協力する企業の開拓及び支援も併せて行うとともに、市民や企業などに対して広く事業の周知を行う。	R4.4.1～R5.3.31